



保健医療学部通信

ごあいさつ

保健医療学部長 乾 公美

錦秋の候、保護者の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育・研究活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、保健医療学部通信第3号が完成しましたのでお届けいたします。

保健医療学部では、札幌医科大学の建学の精神「進取の精神と自由闊達な気風」「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」のもと、質の高い医療を提供しうる看護師・保健師、理学療法士、作業療法士を育成するべく、日々の教育・研究活動に取り組んでおります。

こうした大学の理念のもと、学生たちは、将来、人々のニーズに応えうる高度な専門職として北海道の保健医療の充実と発展に貢献し、それぞれの専門領域を牽引するリーダーとなるための能力を4年間で修得することが期待されております。そのため、看護学科・理学療法学科・作業療法学科いずれの学科においても高い到達目標を設定しており、学生たちは常に主体的な学習行動が求められる環境で、厳しく多忙な大学生活を送っています。将来、重責を担う医療人となるための蛻雪は、現代の若者にとって決して容易でないことを私たち教職員は十分に理解し、未来への夢に近づく充実した4年間の学生生活となるように支援していこうと考えております。

昨年から、これまでの学生支援のあり方を見直し充実した学生支援体制の充実に向けた新たな取り組みを始めました。その一環として、学生たちと生活を共にし、子の成長に最も喜びを感じ、支え愛しんでおられる保護者の皆さまとの連携を強化し、共に学生を支援する体制の構築を目的に、新入生保護者説明会および在校生保護者懇談会を開催する他、保護者の皆さまに学業成績を送付しております。この保健医療学部通信では、学部の最近の状況をお届けし、学部に対する理解を深めていただく機会にしたいと考えております。ご一読いただき、大学での学生たちの様子を垣間見ていただければ幸いです。

私たち教職員は保護者の皆さまと共に、学生たちが札幌医科大学保健医療学部の卒業生としての誇りをもてる教育を推し進めていきたいと考えております。

今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



合格発表



入学式



新入生フォーラム



【2014年度 前期学事・実施報告】（1～2学年）

4月 2日～4月3日	新入生オリエンテーション・新入生フォーラム
4月 4日	入学式・新入生保護者説明会
4月 7日～7月9日	「保健医療総論1」（1年生）・「保健医療総論2」（2年生）
4月14日	前期講義開始
6月12日～6月12日	大学祭
6月25日	大学記念日
8月 4日～9月5日	夏季休業
9月 8日～9月19日	前期定期試験
9月22日～9月27日	理学療法学科「臨床実習1」（1年生）

■新入生情報交換会

平成26年4月3日（木）「情報交換会」を開催しました。

入学式から4月2日、3日にかけて大学生活についての説明会、各学科オリエンテーション講演会などを2日間緊張の面持ちで受けていた新入生ですが、2日間を通して徐々に仲間と交流を深めていったようです。情報交換会では緊張から少し解放された様子で、これから4年間学びを共にする仲間との親睦を深めました。また、教員に対しても大学生活等に関する質問を積極的に行うなど、講演会で学んだコミュニケーションスキルを早速実践し、交流する姿も見られました。



■オープンキャンパス

平成26年8月2日（土）保健医療学部オープンキャンパスを開催しました。245名の高校生が来学するなか、保健医療学部学生約50名がスタッフとして高校生や保護者の方々の受付や案内等を行いました。また、質問・相談コーナーでは高校生に先輩として対応し、将来のキャリアや大学生活に関する質問に、高校生と談笑しながらも真剣に回答する姿が見受けられました。



～ 授業の一部を紹介します ①～ 保健医療総論

「保健医療総論」は本学部の特徴を活かし、学年毎に通常の講義に先立ち、3学科合同で実施する授業で、講義・グループワーク・実習等を通じて医療人としての態度を形成することを目的としています。平成24年からスタートした新カリキュラムでは、以下のような内容で授業が展開されています。

■保健医療総論 1

1年生が学ぶ「保健医療総論 1」では、基本的なコミュニケーションの概念と技術を習得することを目的とし、講演やグループワーク、さらに本学および附属病院の教職員を対象としたインタビュー、報告会などを実施しています。この学習によって1年生はコミュニケーションの基本である対人マナーなどを身につけ、より発展的なコミュニケーション学習に臨みます。



■保健医療総論 2

2年生が学ぶ「保健医療総論2」では、世代や立場が異なる人々との関わりを通して対象者の生活状況等を理解し、保健医療福祉の専門職の役割を知ることが目的として高齢者の入所・通所施設において実習を行います。

学習を終えた2年生からは「効果的なコミュニケーションの大切さを実感した」「病院と介護施設の役割の違いがわかった」「他職種連携の重要性を学んだ」といったレポートが提出され、実習施設からは「笑顔で対象者と接していた」「意欲的に学習に臨んでいた」等、学生が工夫しながらコミュニケーションを図っていた様子がうかがえる意見が多く寄せられました。



■保健医療総論 3

3年生が学ぶ「保健医療総論3」は、他職種の特徴を理解して連携を図ることを目的に、自分の専門分野以外の医療専門職に同行する実習を行います。

看護学科の学生は、理学療法士あるいは作業療法士に同行し、理学療法学科・作業療法学科の学生は看護師に同行して、他職種の専門性を学ぶと共に自分の職種に対する理解を深めます。

学習を終えた3年生からは「専門職種それぞれに重要な役割があり、ひとつの職種でも欠けてはならないと思った。」「他施設の状況を知ることができ、連携には何が必要か熟考できた。」「他職種を理解する姿勢を築く上での基盤を作ることができた。」といったレポートが提出されました。



■保健医療総論 4

新カリキュラムの1期生（現3年生）が4年生で受講する保健医療総論4では、障がい者へのインタビューをもとに3学科の学生が共同でケアプランを作成する学習を行う予定です。こうした取り組みを通して、各職種の専門性・役割を一層理解するとともに、専門職としての意識形成につなげます。



～ 授業の一部を紹介します②～ 手話・点字

保健医療学部では授業科目として「手話・点字」を開講しています。この科目は「手話」と「点字」の実技を学ぶとともに、聴力・視覚障がい者への教育、社会的ハンディキャップなどを正しく理解すること、さらに聴力・視覚障がい者に対する知識を取り入れ、リハビリテーションに役立てられるようにすることを目的としています。

「手話」では、挨拶を身振りで伝え合うことから始まり、自己紹介を表情、身振りを工夫して伝えることや、福祉制度について学びます。「点字」では仮名遣い、数字の表記、文章の構成を表記することを学びます。例年、受講した学生の多くからは、理解しやすい授業に満足し、「手話・点字」に関して強い関心を抱くようになったこと、また、手話・点字で意思疎通を図る人々とのコミュニケーションのあり方を考える機会になったとの感想が寄せられています。



冬にかけての健康管理について

保健管理センター副センター長 齋藤重幸（学医・看護学科教授）

試験期間が終了し、学部は後期に入りました。上級生は実習や卒業研究等に忙しく、下級生も本格的な医療の専門課程を学び始めています。この時期の学生は実習の緊張と大量の課題を抱え心身に疲れが蓄積します。多くの学生はこうした心身のストレスを上手に解消しますが、中には対処できない学生がでてきます。また、季節は秋から冬に向かい寒さを覚える時期です。インフルエンザや冬季流行性胃腸症に罹患の機会が増します。

学部では、学生の感染症抗体価などを予め検査して、抗体価の低い学生には該当のワクチン接種を指導していますし、10月末になるとインフルエンザの予防接種の斡旋を行います。実習先は医療機関なので、そこでの学生の患者からの感染や、逆に学生がインフルエンザ等の感染症を実習先に持ち込むことには十分な対処を行なっています。学生もこの点はしっかり学習しています。しかしながら、体調を崩すことは誰にでもおこります。保護者に助けを求めることもあるでしょうし、学生一人で対処しようとするかもしれません。

保健医療学部の教員は医療のプロです。学生が体調を崩した場合は学年担当の教員に連絡するように伝えて下さい。その時点で最も確実、安心なアドバイス、指導が得られるはずで、この冬の季節を乗り切るとまた試験がありますが、学生は次のステップに進むことになります。



【2014年 後期学事予定】（1～2学年）

9月29日	後期講義開始	1月26日	～1月26日	作業療法学科「臨床実習1」（1年生）
10月16日	体育祭	1月26日	～1月30日	看護学科「基礎看護実習1」（1年生）
12月5日	文化芸術祭	2月2日	～1月30日	看護学科「基礎看護実習2」（2年生）
12月22日	～1月2日 冬季休業	2月17日	～3月6日	後期定期試験
		3月9日	～4月3日	春季休業
		3月20日		卒業式

【お問い合わせ先】

札幌医科大学事務局学務課保健医療学部教務係
電話：011-611-2111(内線2192)